

2014 年 12 月号 小島薬局漢方堂



パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます

うがい手洗い板藍茶

12月になり今年も残すところあと1カ月となりました。気温もグッと下がり、空気も乾燥し、風邪やインフルエンザも流行する季節となりました。

今年も板藍茶が手放せない季節がやってきました！

板藍茶は“漢方の抗生剤”と呼ばれるほど抗菌・抗ウイルス作用があり、本場中国では風邪の季節になるとお茶として飲まれる非常にポピュラーな生薬です。風邪やインフルエンザのウイルスが活動的になる時期には前もって飲んでおくことで、風邪やインフルエンザを予防することができます。さらにかかった場合にも喉でウイルスを退治してくれるので、悪化するのを防いでくれます。

まさに早めが勝負!!**予防が大切です。**

小さなお子様やご年配の方にも安心してお茶代わりにお飲みいただけます。またテストや受験を控えた学生がいるご家庭、風邪をこじらせたくない方にも非常にオススメです。電車でお出かけされたり、人ごみに出かける際には板藍のど飴は外出先でも気軽に舐められるのでお守り代わりに持ち歩くのがオススメです。

これからの季節は“うがい・手洗い・板藍茶”で風邪、インフルエンザをしっかり予防しましょう!!

— お客様の声 —

「2年前から風邪の流行る時期になると板藍茶をお茶に混ぜて飲んでいました。昨年、小学生の息子がインフルエンザのため学級閉鎖になり、息子が良く遊んでいるお友達のグループもほぼみんな感染してダウンしてしまいましたが、息子だけはうつらずなぜか元気！板藍茶を飲み始めてから風邪をひく回数も格段に減って、風邪の季節も安心して家族元気に過ごしています。私も気を使う事が少なくなり、板藍茶は本当に力強い味方です！」



今年の冷え症対策は 「婦宝当帰膠」



日に日に寒さが増してくると手足などの冷えが気になる方も多いのではないのでしょうか？実際、寒さにより血管が収縮し血液の流れが滞りがちになり体の末端に十分な血液が行き渡りにくくなります。その結果、寒い季節は体の冷えが悪化しやすくなります。

しかし、冷えと言っても症状や原因は様々です。特に代表的な原因として3つのタイプに分けられます。1つ目は血液の巡りが悪く、良い血液を作る力が不足して起こるもので、女性に多く見られ、顔色にツヤがなく生理痛、貧血傾向などの症状が起きやすいという特徴があります。2つ目は体を温めるエネルギーが不足して起こるもので、顔色が白く、むくみやすい、風邪を引きやすいなどの特徴があります。3つ目は気の流れが悪く体の末端まで気が巡らないためにおこるもので、イライラする、お腹が張る、げっぷが出るなどの特徴があります。

様々な冷え症に幅広く用いることができる漢方薬が『婦宝当帰膠』です。婦宝当帰膠は“当帰”を中心とした漢方薬で、血液を補い体を温める働きがあります。当帰が配合された漢方薬はいくつかありますが、婦宝当帰膠は当帰が全構成生薬の7割を占めた処方です。またその他に、気を補う働きのある“党参”“黄耆”などが配合されているので、血液を補い、巡りを良くし体を温めてくれる冷え症にピッタリな漢方薬です。

婦宝当帰膠は黒糖味の甘くて飲みやすいシロップですので、ご愛飲いただいている方には続けやすいと好評です。お湯かぬるま湯で薄めていただくことで寒いこの季節は更に体が温まります。今年の冬は婦宝当帰膠で体の中から温めて冷え症を改善しましょう!!



年末年始感謝キャンペーン

5,000円以上お買い上げのお客様に2015年カレンダーと干支（羊）シンシンぬいぐるみをプレゼントします。へび、午と続き今年は今まで以上にかわいいフワフワな羊のぬいぐるみとなっておりますので、この機会にぜひご来店下さい。※数に限りがございますので、お早めにお求めください。